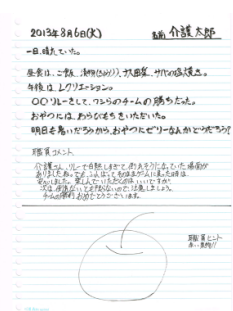


しりとりレー日記

利用者さんの時間が空いた時にできます。日記にゲーム要素を加えたことで、楽しみにもなり、認知症予防にもなる。



ジャンル 認知症予防 机上レク

身体面への効果 指定されていません

精神面への効果 指定されていません

介護度 要介護度2 所要時間 5分～30分

性別 男性  女性  どちらも好評です 人数 2人～

道具 (一人当たり予算0円)

記録用ノート
書ききれなくなったら
新しいノートを購入してください。

注意点・追加ルール しりとりレーだけ行っても良い。

期待効果

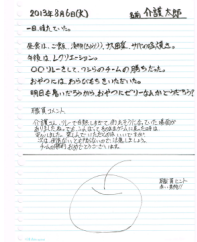
物事を思い出す訓練。

しりとりに対する答えを考える要素もあるため

脳に良いので、認知症予防になる。

文章と絵を書くことで、普段と違う刺激を与えられる。

- 1 利用者の方に順番に日記を書いてもらう。更に、日記の下でしりとりを行う。
そのしりとりは絵を書く。(難しいと判断した場合、職員がヒントを一言書いておく。)



- 2 回す順番は職員の方が考える方が良い。次々とノートを回していく。1日1人～何人でも良い。

- 3 日記の内容は、前日の出来事を思い出す訓練になる。が、交換日記の要素を加えるのも面白い。利用者同士のコミュニケーションツールになる。

- 4 1周したところで、発表の時間を設ける。日記の内容に触れることで、話を広げてもいい。
または、日記の内容を覚えているか確認し、思い出してもらう訓練にする。

- 5 日記の内容よりもしりとりの答え合わせの方が盛り上がる！
答えを勘違いしていた場合は更に盛り上がる！

6 「絵が下手」、「なんでわからないんだ」と言った喧嘩に発展しない注意が必要。

7 その場合、職員がもっと下手な絵を書いて自分が一番下手であることを印象付ける。笑いにもつながる一工夫。

8 紙に絵しりとりだけ1日リレーで回すのも良い。帰る間際から答え合わせをすれば時間もあっという間にすぎるであろう。

9 慣れれば、iPad等のお絵かきアプリ(無料)を活用して、絵しりとりだけをするのも良い。
iPadやタブレットに触れた！という喜びが利用者の方々に生まれて良い。

10 文字を書くのが困難な場合、絵だけでも描いてもらう。それでも無理な場合、答え合わせで積極的に答えていただく。
介護度の高い方も参加できる部分が必ずあります。

11

オマケ

ただの日記だけでは物足りない時

その利用者さんのその日の様子を職員さんが書いておく。

日誌は普段も書くかと思いますが、書いていない事柄や楽しそうな雰囲気等、日誌に書けないことを書くことで記録ができる機会となる。

12

普段の日誌作業を楽しくこなす一工夫。